

まちの話だい

8月8日 | 実習生が古文書を発見

学芸員を目指す大学生3人が、博物館での実習で、旧幕臣家に保存されていた「ふすま」を調査したところ、江戸時代の古文書を発見しました。

かつて、ふすまの中に不要になった紙などを、断熱材代わりに入れる習慣がありました。今回の調査で、江戸城下町の様子を記した文書を発見。実習生は、古文書を1枚ずつ丁寧に剥がし、番号をふったりメモを取ったりして、調査を行いました。



8月23日 | 一日市長を体験

職業体験イベント「こどもわくワーク」の一環で、初倉南小学校の鈴木絢女さん^{すずき あやめ}と川根小学校の諸田莉星さん^{もろた りせ}が、一日市長に就任しました。

「島田をもっと良いまちにしたい」と抱負を語った2人は、染谷市長から任命証を受け取った後、今日の予定を秘書と確認。名刺交換の練習をしたり、あいさつ文を考えたりしました。その後の市内視察では、忙しい市長の公務を体験しました。

8月17日 | 川根の夏の風物詩

川根町家山の野守の池で、恒例の「野守まつり」が開催されました。

昼の部の「和船漕ぎ大会」には、レディースの部や町内会の部、仮装の部などに、約35チームが参加。選手は2人1組で息を合わせてオールを漕ぎ、白熱したレースを繰り広げました。夜の部は灯籠流しや盆踊り、花火大会で締めくくられ、川根の夏を幻想的に彩りました。





8月25日 | 伝承される古里の誇り

隔年で9回目となる「郷土の芸能を観る会」がプラザおおりで開かれました。

今回は、古里の誇りとなる島田大祭を見て、学んで、大いに盛り上げることを目的に開催。鹿島踊^{かしまおどり}や長唄屋台踊^{ながうたやたいおどり}、大奴^{おおやっこ}など、大祭に関わる団体が出演しました。市文化協会の森澤^{もりさわ}会長はあいさつで「大井川に架かる橋のように、人と人が繋^{つな}がるために、これからも文化の普及に努めたい」と述べました。

8月26日 | 日本髪^{おおぬまい}の美と伝統を学ぶ

島田髷まつりに向けて「日本髪^{おおぬまい}結い上げ勉強会」が、地域交流センター歩歩路で行われました。

講師は、日本髪の第一人者である大沼^{おおぬまい}氏。髷に関する講演後、髪飾りの付け方などの実技指導を行いました。受講者はそれぞれ、奴島田^{やつこしまだ}と呼ばれる髷を練習。参加した美容師の一人は「結い上げは何回やっても難しいけれど、勉強会に参加してみんなで楽しく学んでいる」と話しました。



8月15日 | 恒久平和への祈り

終戦の日に合わせて、プラザおおりで「島田市平和祈念式典」が開催されました。式典では、約500人の市民などが、黙とうや献花、平和都市宣言の朗読などを通して、恒久平和を祈りました。

第二部では、島田工業高校情報技術科の生徒たちが制作した、ドキュメンタリー映像「模擬原爆 島田空襲の真実」の上映や、島田市少年少女合唱団による合唱などが行われました。